

FTS-X フリーホイールメカニズムのメンテナンスと交換

このフリーホイールシステムの操作方法は、FTS-L システムと同じですが、過酷な使用条件からのニーズに応えるため、新しい部品（特に爪とリップシール）が組み込まれています。

この新システムは、すべての 2007 年版 MTB 用ホイールに使用されています。FTS-X システムを使用したホイールには、出荷時にフリーホイールボディの周りに、それを示すラベルが貼られています。

これらの新部品は、2000 年 9 月から販売されているすべての FTS-L ハブに 100% 対応しています。したがって、ハブの定期メンテナンス時に古いホイールをバージョンアップすることができます。

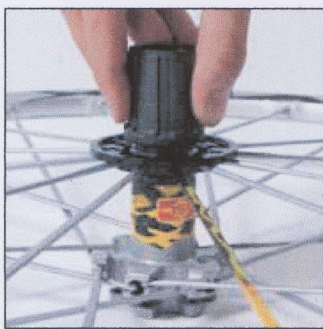
マヴィックのハブのパフォーマンスが長期間保たれるよう、定期的に次の作業を行うことを推奨します。

このメンテナンス間隔は、天候や路面の条件（ぬかるみ、非常に細かいほこり、悪路、雨など）に応じて短縮する必要があります。

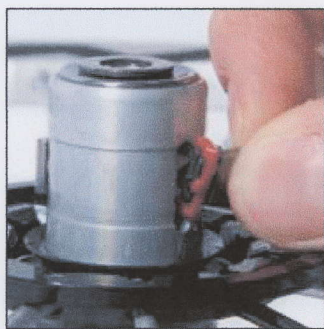
必要なツール

- マヴィックミネラルオイル M40122
- 先の細い工具

次の手順に従って、作業を行うハブのアクスルを取り外します（www.tech-mavic.com または昨年テクニカルマニュアルを参照）。



フリーホイールボディを反時計回りに回して、取り外します。

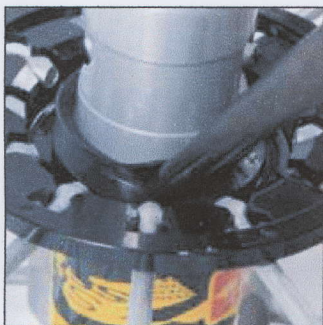


爪を取り外します。

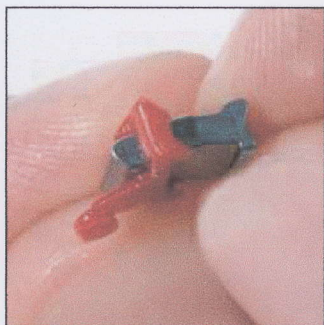


先の細い工具でリップシールを傷めないように外します。

ハブボディ、爪、フリーホイールボディ、スパーサーワッシャー、リップシールを細部までクリーニングします。



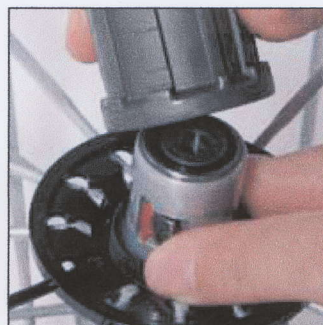
先の細い工具を使って、リップシール全体をハブボディの根本と縁の間に押し込みます。



爪から樹脂のパーツを外した場合は、スプリング固定ピンが爪の内側になるよう、再度取り付けます。



フリーホイールボディ内側の溝 2 ～ 3 本分のマヴィックミネラルオイルを差します。さらに、リップシールにも 1 滴たらしめます。



スパーサーワッシャーをハブボディベアリングに取り付け、2 本の爪を指で押さえ、フリーホイールボディを再度取り付けます。

次の手順に従って、作業を行うハブのアクスルを再度取り付けます（www.tech-mavic.com または昨年テクニカルマニュアルを参照）。

2 つのパーツで構成されている新しい爪は、現在まで使用されている爪より摩耗しにくくなっています。

新しいシールは、フリーホイールボディとの接触による摩擦が最小になるよう設計されています。

- より柔軟性の高い材質
- 新しいテフロン表面加工

これらの採用により、摩擦が半減しています。

したがって、シールに多量のマヴィックミネラルオイルを差しても意味がありません。

マヴィックミネラルオイル M40122 以外は使用しないでください。グリースや他のオイルを使用すると、フリーホイールシステムのコンポーネントが損傷して修復不能となり、マヴィックの保証が適用されなくなります。